

I. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援

中小企業再生支援協議会を活用したホテル再生の取り組み

(金融機関名)富山第一銀行

1. 動機(経緯)	<p>当社は、A市内周辺の地域活性化並びに駅前地区の市街地再開発を図るため、商工会議所、地元企業など地域が一体となって、サービス業を開業する。</p> <p>その後、バブル崩壊に伴い、設立時の過大投資、人口構成の変化による売上激減、経済減速による売上減少で、過剰債務・債務超過となり、金融支援なくしては再生不可能となる。</p>
2. 概要	<p>中小企業再生支援協議会が関与のもと、同シェアの地銀と協同して再生を図った。</p> <p><事業再生スキーム></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中小企業再生支援協議会 <ul style="list-style-type: none"> ☆再建計画の策定による支援を行う。 ☆公認会計士、不動産鑑定士にDDを依頼し、事業価値を査定する。 ☆各金融機関の支援割合の調整をする。 ・新スポンサー <ul style="list-style-type: none"> ☆新スポンサーが新経営陣となって運営体制の構築をする。 ☆事業価値を基に、金融債務を一部返済するため、資金援助を行う。 ・銀行 <ul style="list-style-type: none"> ☆新スポンサーが一部返済した残債について、債権放棄(債務超過相当額)をする。 ・経営者 <ul style="list-style-type: none"> ☆経営者責任として役員全員退任。その後、一部の役員は再度就任する。 ・株主 <ul style="list-style-type: none"> ☆株主責任として減資に応じる。〈98%〉 ☆増資を実施する。 ・保証人 <ul style="list-style-type: none"> ☆保証履行(調停審判)する。
3. 成果(効果)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の事業再生は、中小企業再生支援協議会が関与し、協調融資でシェア同等の他行との協力体制をとることができた。また、スポンサー方式により事業の継続再生を図ることができた。一方では、スポンサー支援の取付け、経営責任の追及、保証人の債務履行に苦勞した。 ・事業再生に関し、当行が果たした役割としては、地域密着型金融推進の中で地域の活性化及び利便性の確保に貢献できた。 ・経営支援後の企業の状況については、設備の再投資が完了し、売上・利益とも計画に近い推移をしている。
4. 今後の予定(課題)	<p><現状></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな事業再生の見込先として、破綻懸念先153先、実質破綻先240先、合計393先から個人ローン先を除く事業先10百万円以上の先で、選定条件に基づき12社選定する。 ・事業再生取組先の該当支店長及び支援チーム、債権管理部推進役を経営改善支援責任者に任命し、毎月事業再生会議を開催し、再生シナリオ及び進捗状況を検討している。 ・ファンド譲渡後の再生進捗状況把握、再生のアドバイス、金融支援を行った後の再生計画の進捗状況を把握し、指導している。 <p><今後の予定(課題)></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業再生計画策定は、全先策定を目標とし、事業再生取組先の該当店と本部が一体となって実現を目指していく。 ・事業再生計画策定企業との交渉を重ね、中小企業再生支援協議会、再生ファンド、RCC介入のもと、事業再生の実現を目指していく。

事業再生取組み事例(業況不振のホテルを再生)

事業再生スキーム

中小企業再生
支援協議会

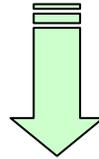
【内容】

過去の過大投資資金の返済負担と
売上不振により債務超過に陥った
ホテルを再生

【銀行として対応に苦労した点】

- スポンサーの支援取り付け
- 経営者の責任追及
- 保証人の保証履行 等

(再建計画の策定を支援)
(事業価値査定)
(各金融機関の調整)



新スポンサー

(資金援助)

(新経営陣により
運営体制の構築)

(再生会社)
事業再生が
可能になる

(一部返済)

(残債債権放棄)

銀行

(役員全員退任)

(増資)

(株主責任として減資)

(保証履行)

経営者責任

株主

保証人

